Solid Ai™ 学習ツール
インストール説明書

日本コンピュータテクノス株式会社

目次

1 SQL Server ソフトのインストールと設定 4
1.1 ダウンロードとインストール 4
1.2 SQL Server の設定 9
1.2.1 SQL Server の名称確認 9
1.2.2 データベースの登録 10
1.2.3 ログインユーザの登録 10
1.2.4 SQL Server の TCP/IP プロトコル確認 12
1.2.5 SQL Server セキュリティの設定 13
2 Solid AI 学習ツールのソフトウェアインストール 14
3 Solid AI 学習ツールデータベースの準備 16
3.1 「Solid AI 学習ツールデータベース準備」の起動 16
3.2 4 つの名称を入力後、接続ボタンを押します。 16
4 Solid AI 学習ツールの起動とライセンス承認 18
4.1 ライセンス承認の流れ 18
4.2 ライセンス確認画面（初回起動時の画面） 19
5 ソフトウェアのアンインストール 20

概要

インストール手順

Solid AI 学習ツールのインストールには下記の手順に従ってインストールして下さい。

1. SQL Server ソフトのインストールと設定
2. Solid AI 学習ツールのソフトウェアインストール
3. Solid AI 学習ツールデータベースの準備
4. Solid AI 学習ツールの起動とライセンスコード、インストールコード設定

パソコンの条件

パソコン OS：windwos 8 以降
メモリ：4 GB 以上
ハードディスク（又は SSD）：64GB 以上
データベースソフト：SQL Server 2008 以上

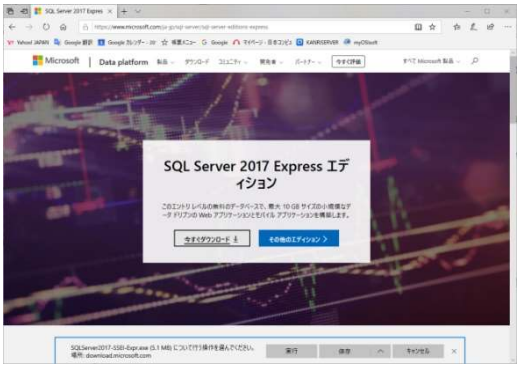
1 SQL Server ソフトのインストールと設定

SQL Server ソフトがインストール済みの場合もしくはネットワーク接続で他 PC の SQLServer を利用する場合 SQLServer ソフトインストール作業は不要となります。しかし、「1.2 SQL Server の設定」の確認設定をしてください。

SQL Server ソフトはマイクロソフト社が無償版の SQL Server Express という製品を提供しているので、そのソフトをダウンロードしてインストールという手順を説明します。
無償の Express 版はデータ容量が 10G バイト以下などの制限がありますが、本ソフトウェアの使用には利用できます。

1.1 ダウンロードとインストール

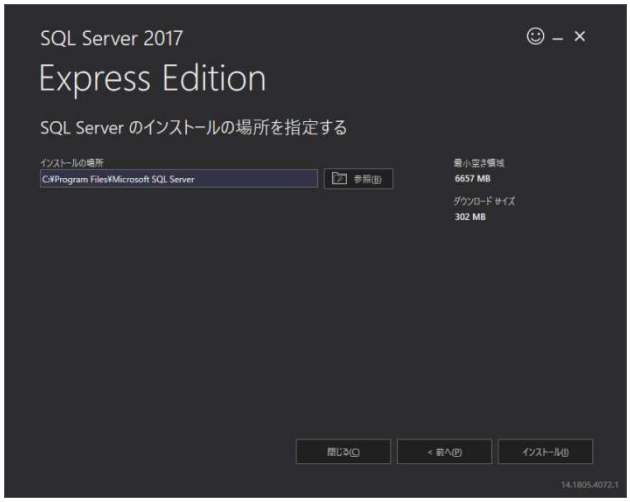
SQL Server 2017 Express エディションのダウンロードは下記サイトにて「今すぐダウンロード」のボタンをクリックします。
https://www.microsoft.com/ja-jp/sql-server/sql-server-editions-express



「実行」ボタンを押してダウンロード後にインストールを開始します。
インストール時警告画面がでますが、「はい」を押して許可をしてください。

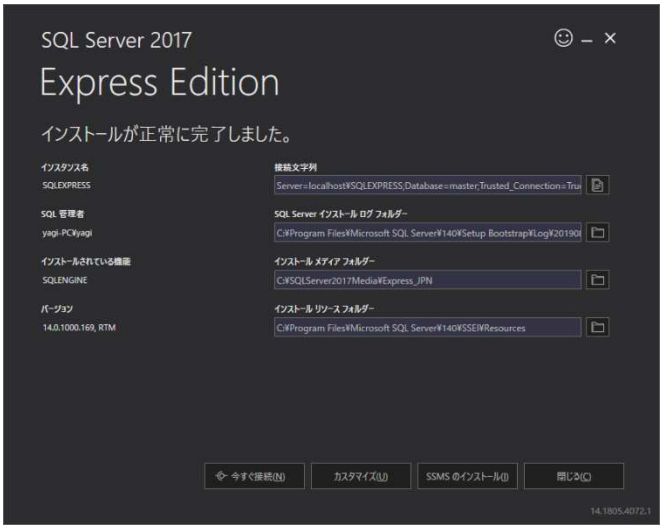
「基本」を選択します。

「同意する」を押します。

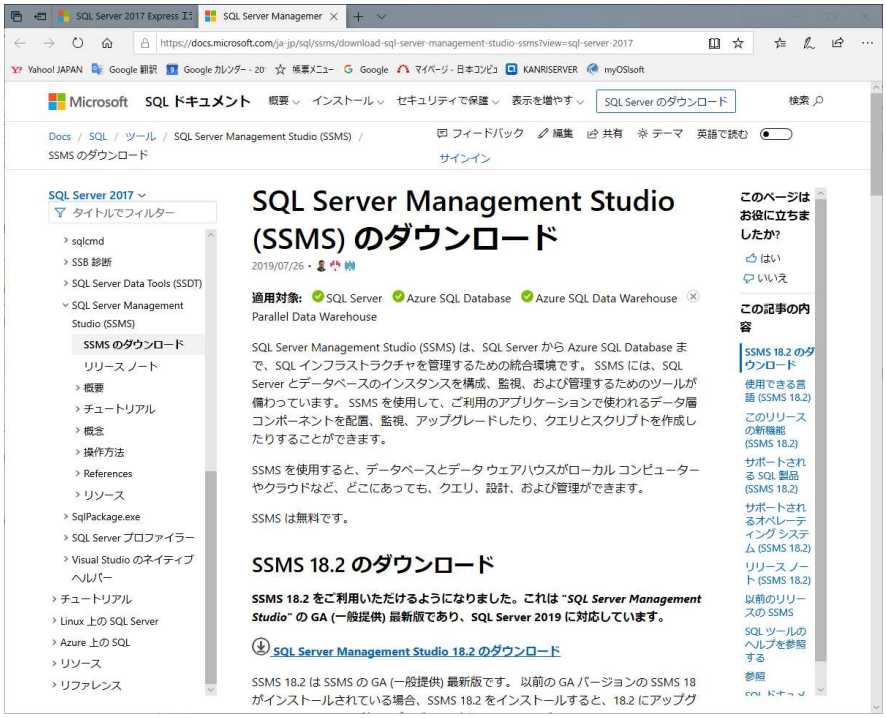


「インストール」を押します。

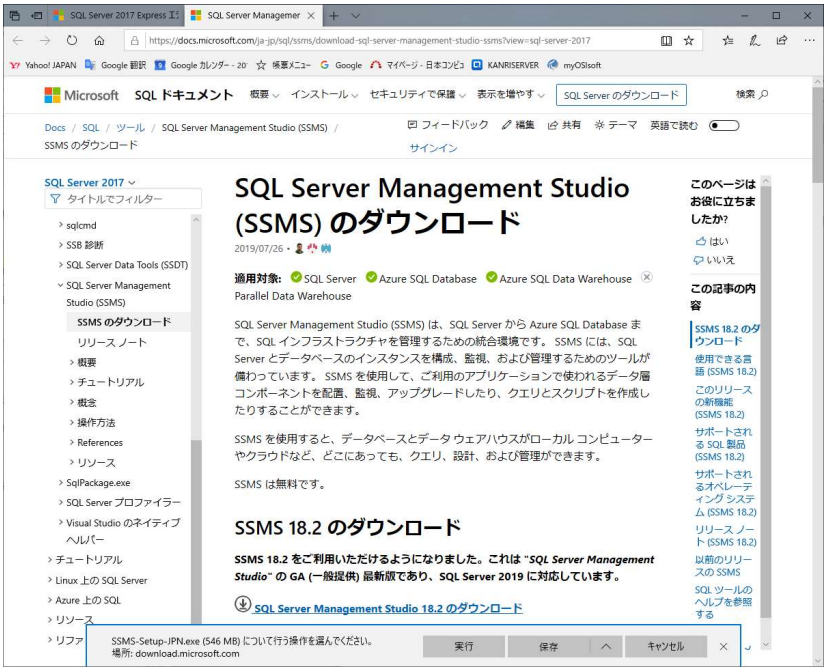
インストール中の画面が表示されます。



SQL Server 2017 のインストールが終了して次に「SSMS のインストール」を押して「SQL Server Managemet Studio」プログラムを続いてインストールします。



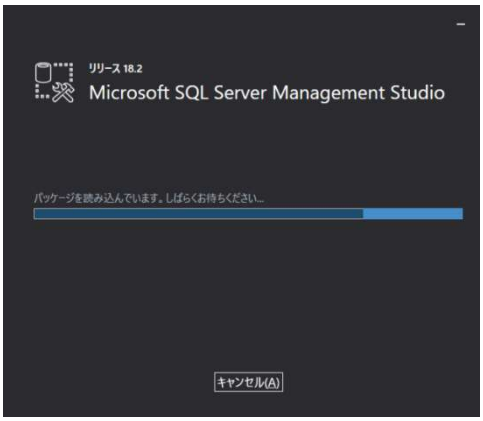
SSMS ダウンロードサイトが表示されるので SQL Seerver Management Studio のダウンロードをクリックします。



「実行」ボタンをクリックしてインストールを開始します。

インストール警告画面がでますが、「はい」を押して許可をします。

「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



インストール中の画面が表示されます。終わるまで待ちます。

「再起動」をクリックしパソコンの再起動をします。

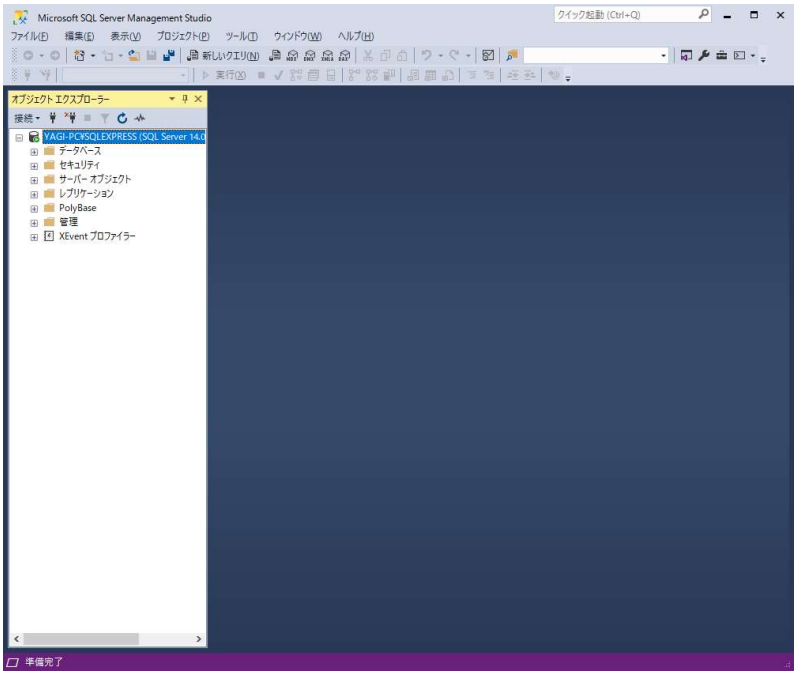
1.2 SQL Server の設定

再起動後、PC スタートメニューに「Micorosoft SQL Server 2017」と「Micorosoft SQL Server tools 18」が追加になっています。

1.2.1 SQL Server の名称確認

スタートメニューの「Micorosoft SQL Server tool 18」のサブメニュー「Micorosoft SQL Server Management Studio」を選択します。
この時 SQL Server のサーバーへの接続画面が表示されます。

「接続」をクリックして接続します。

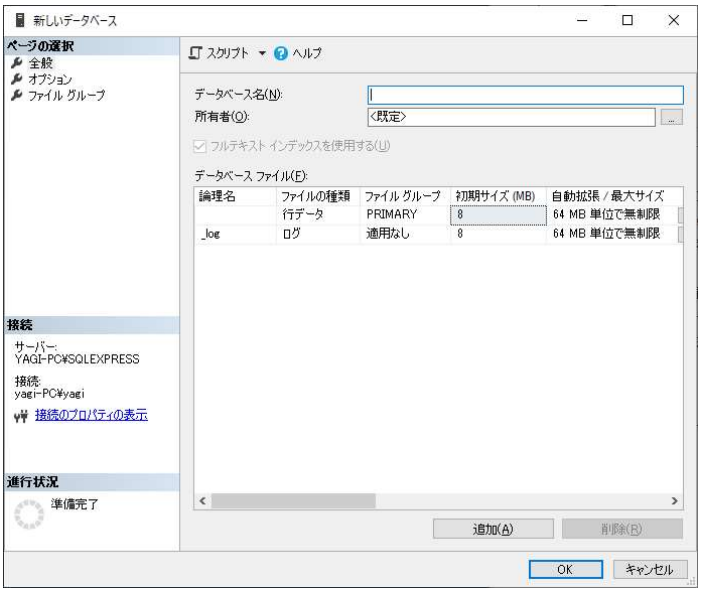


接続された SQLServer の画面が表示されます。

左側表示の一番上が SQLServer の名称になり、今後接続の際には必要なのでサーバー名として記録しておきます。（例： サーバー名＝xxx-PC¥SQLEXPRESS）

1.2.2 データベースの登録

SolidAI 学習ツール用のデータベースを登録します。左側の「データベース」を右クリックして「新しいデータベース」を選択します。

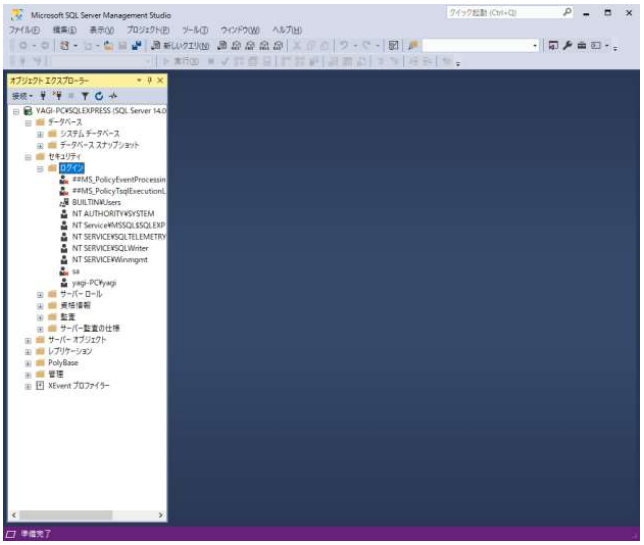


データベース名を入力し「OK」を押します。データベース名も後で使用するので記録して置きます。（例：SOLID）

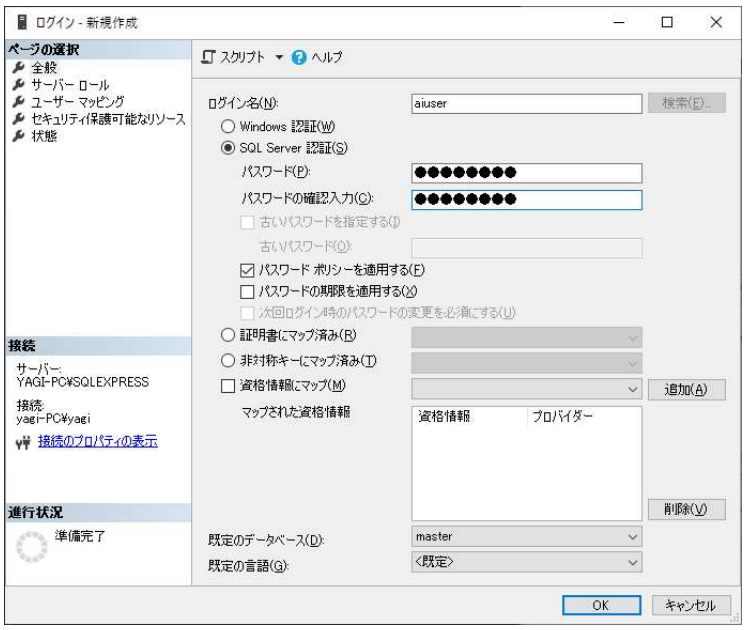
1.2.3 ログインユーザの登録

SolidAI 学習ツールで使用するユーザ名等を登録します。

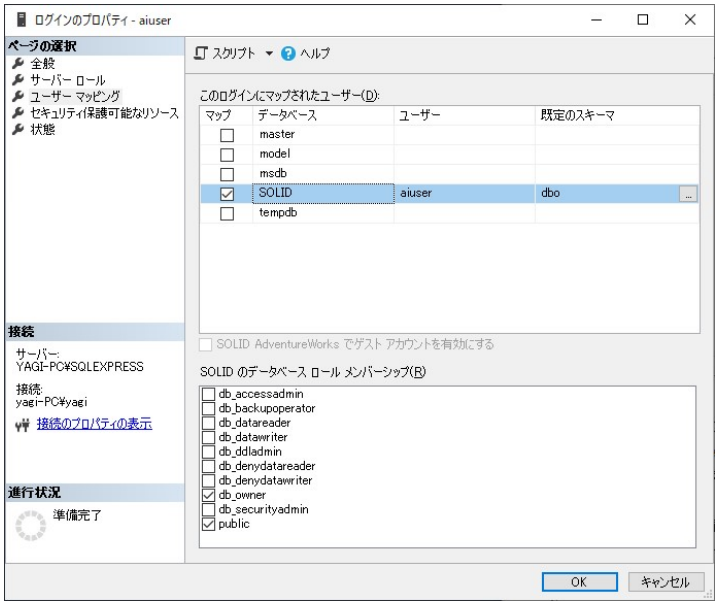
左側の「セキュリティ」->「ログイン」をクリックしてログインユーザを表示します。



「ログイン」の右クリックで「新しいログイン」を選択します。



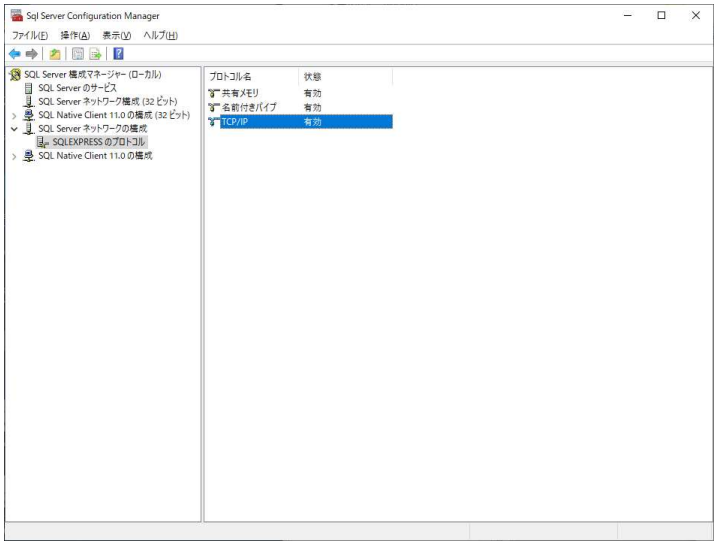
1. ログイン名を入力します。ここでは「aiuser」とします。後で使用するので記録して置きます。（例：ユーザ名＝aiuser）
2. SQL Server 認証を選択します。（Window 認証では SolidAI 学習ツールは利用できません。）
3. パスワードとパスワードの確認入力に同じものを入力します。後で使用するので記録して置きます。（例：パスワード=jct-2020）
4. 「パスワードの期限を使用する」のチェックをはずしてください。
5. SolidAI 学習ツール用データベースにユーザを登録する為、画面左上の「ユーザマッピング」を選択します。



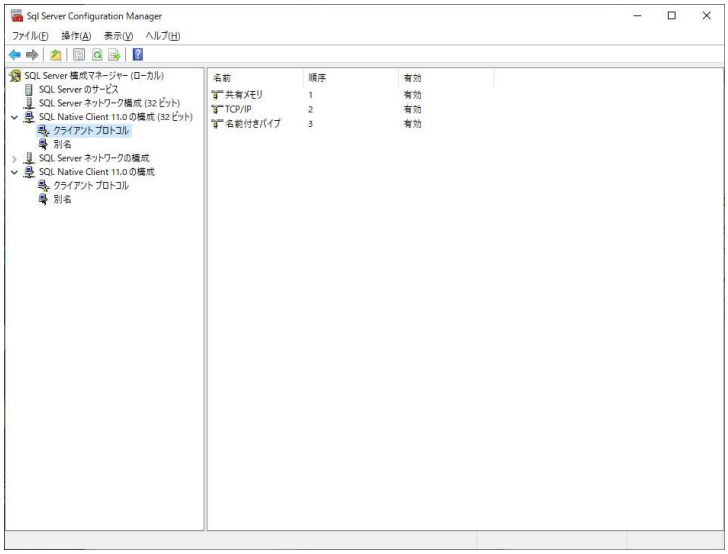
6. SokidAI 用のデータベース（例：SOLID）を選択、チェックします。
7. 下の「データベースロールメンバーシップ」の「db_owner」にチェックをします。
8. 「OK」を押して画面を閉じます。

1.2.4 SQL Server の TCP/IP プロトコル確認

スタートメニュー「Micorosoft SQL Server 2017」のサブメニュー「SQL Server2017 構成マネージャー」を選択します。



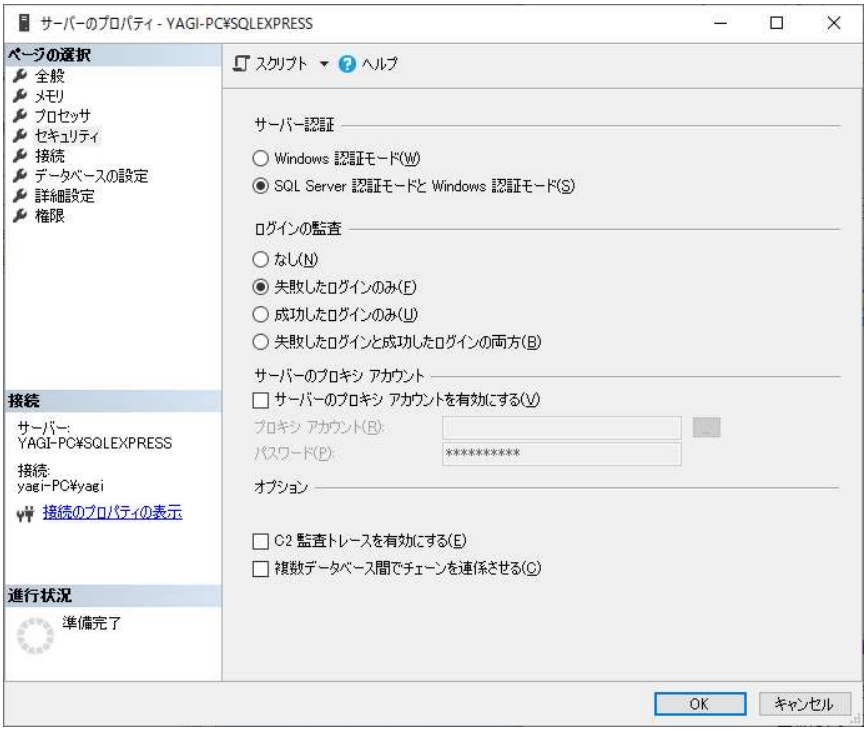
「SQL Server ネットワークの構成」(windowsOS が 32 ビットの時は 32 ビット)－＞「SQLEXPRESS のプロトコル」を選択し、TCP/IP を有効に変更します（右クリックで有効化を選ぶ）。有効な場合はそのままにします。



左側の「SQL Native Client 11.0 の構成（32 ビット）」の項目の下の「クライアントプロトコル」をクリックすると右画面に「TCP/IP」の「有効」が表示されます。これが「無効」の場合は「有効」に変更してください。
変更した場合は「SQL Server のサービス」－＞「SQL Server(SQLEXPRESS)」を右クリックして再起動をしてください。これで変更が反映されます。

1.2.5 SQL Server セキュリティの設定

スタートメニューの「Micorosoft SQL Server tool 18」のサブメニュー「Micorosoft SQL Server Management Studio」を選択します。
左側のサーバー名を右クリックして「プロパティ」を選択するとプロパティ設定画面が表示されます。



1. 「セキュリティ」をクリックして「サーバー認証」で「SQL Server 認証モードと Window 認証モード」を選択します。
2. 「OK」ボタンでプロパティ画面を閉じます。
3. 左側のサーバー名を右クリックして「再起動」を選択して認証モードの設定を有効にします。

以上で SQL Server の準備は終了です。

2 Solid AI 学習ツールのソフトウェアインストール

SolidAI 学習ツールのインストーラソフト（SolidAIinstallerVxxx.exe）を USB からコピーするか Web サイトからダウンロードしてください。
ダウンロードサイトは下記となります。

注意、SolidAI 学習ツールを起動する際には購入時提供のライセンスコードとインストール PC 確認のインストールコードが必要になります。（「4 Solid AI 学習ツールの起動とライセンス承認」の章参照）

SolidAIInstallerVxxx.exe を起動すると Windows のインストール許可画面が表示されますが「はい」を押して許可をしてください。続いて Solid AI 学習ツールのインストール画面が表示されます。

「Next」ボタンを押してください。

インストールが終了しました。「Finish」ボタンを押して終了です。

注意：Run Solid_AI 学習ツール now のチェックボックスのチェックが付いていますが「Finish」後プログラムの実行はされません。

3 Solid AI 学習ツールデータベースの準備

SolidAI 学習ツールを起動する前に SQL Server 接続の準備をします。接続後、自動的に Solid AI 学習ツールに必要なデータベーステーブルを作成します。

3.1 「Solid AI 学習ツールデータベース準備」の起動

PC のスタートメニューの「JCT」－＞「Solid AI 学習ツールデータベース準備」を起動してください

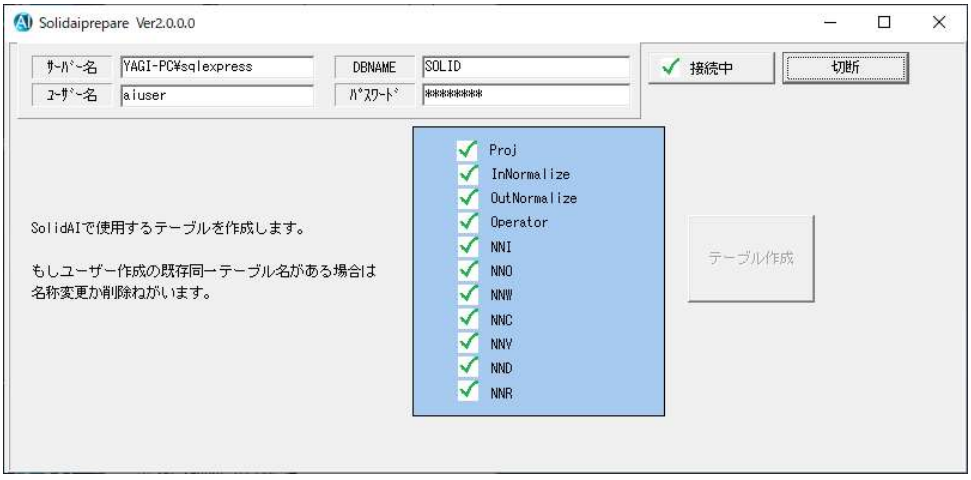
ここで、SQLServer インストール時に作成した記録が必要になります。

1. サーバー名：(例：xx-PC¥SQLEXPRESS)、
2. DBNAME データベース名：(例：SOLID)、
3. ユーザ名：（例：aiuser）、
4. パスワード：(例：jct-2020)です。

3.2 4 つの名称を入力後、接続ボタンを押します。

接続に成功すると Solid AI 学習ツールで使うテーブルの状態が表示されます。

接続できない場合は SQL Server の設定に問題があるので確認修正してください。
青色のボックス内にテーブル名リストが表示されています。 テーブル名の左のチェックボックスにテーブルが存在する場合はチェックが表示されます。1 つでも存在しない場合はそのテーブル名のチェックがついていない状態で表示されます。「テーブル作成」ボタンが操作可能な状態になっている場合は押してください。足りないテーブルを作成します。



全てのテーブル名にチェックが付けばデータベース準備終了です。

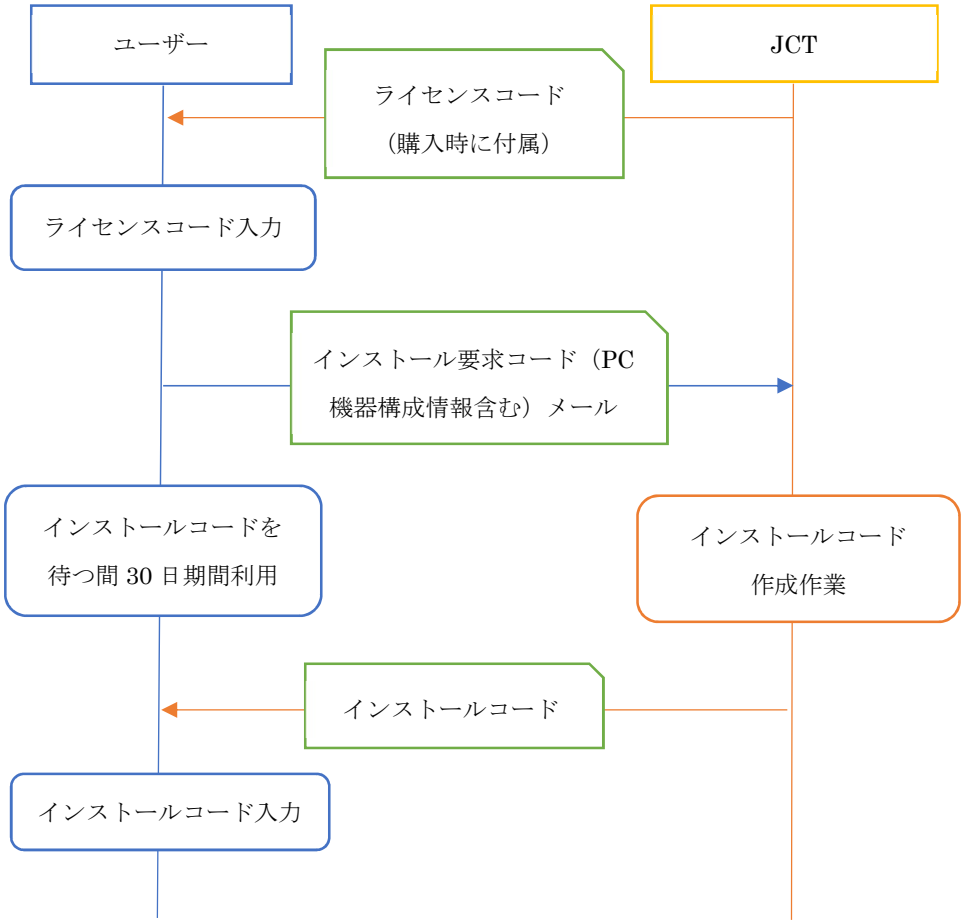
4 Solid AI 学習ツールの起動とライセンス承認

初めて SolidAI 学習ツールを起動するとライセンスコードの入力画面が表示されます。
ライセンスコードを入力するとインストールコード要求メールを日本コンピュータテクノス株式会社（以下 JCT）に送信しインストールコードを受け取る様になります。

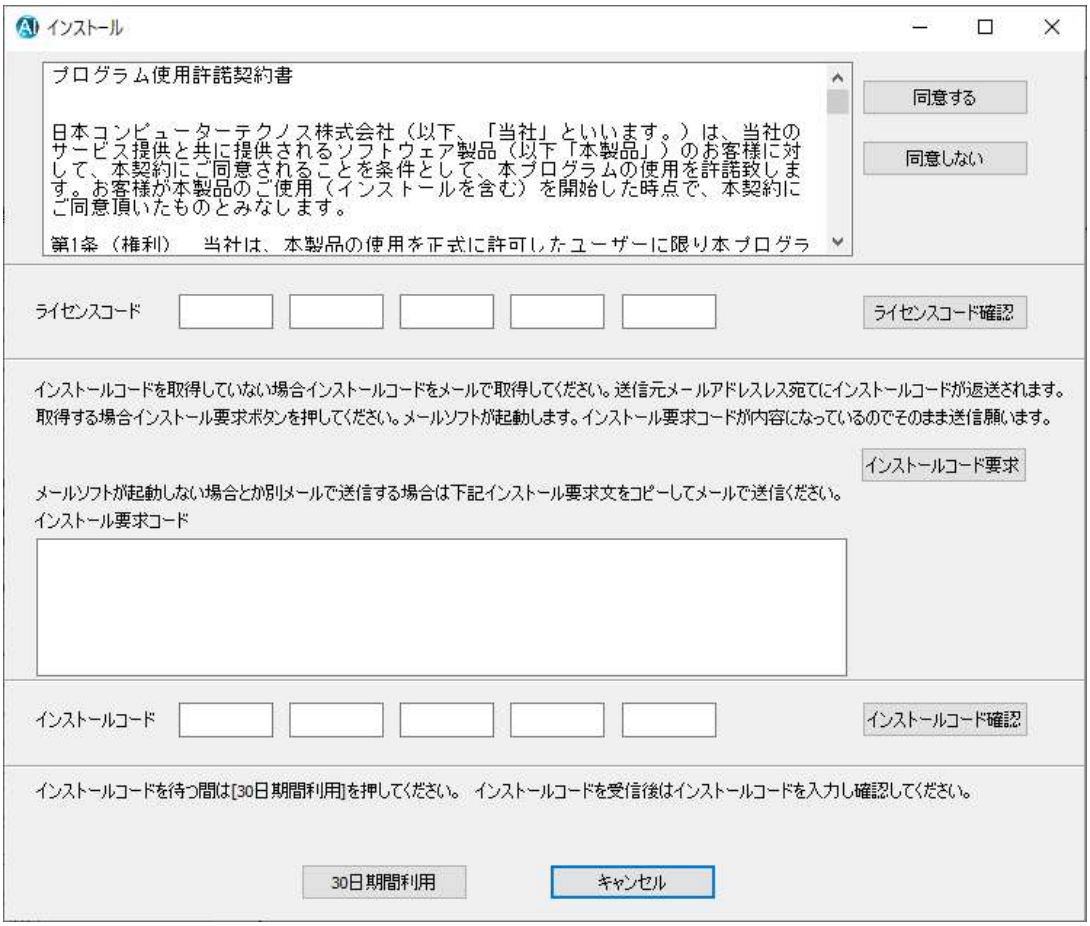
インストールコードは JCT からメールで返信されますが、数日かかる場合があります。インストールコードを待つ間は 30 日期間の利用ができます。インストールコード入力まではソフトウェア起動時にライセンス画面が表示されます。

インストールコード受信後はそのコードをライセンス承認画面に入力し、確認ボタンを押すと次回からは起動時のライセンス画面は表示されなくなり、正式利用が可能になります。

4.1 ライセンス承認の流れ



4.2 ライセンス確認画面（初回起動時の画面）



1. ソフトウェア使用許諾契約書の内容に対し「同意する」ボタンを押してください。
2. ライセンスコードの文字 4 桁 x 5 個を入力して「ライセンスコード確認」ボタンを押すと「インストール要求コード」の欄にインストール要求メールの内容が設定されます。
3. 「インストール要求」ボタンを押すとメールが起動されてインストール要求メールの画面が表示されますのでそのまま送信してください。　環境によりメールが起動しない場合があります。その場合は「インストール要求コードの内容をコピーして、別途起動したメールに張り付け送信してください。宛先はインストール要求コードの中に記述してあります。
4. インストールコードが JCT から返信メールで届きますが、数日かかる事がありますので「30 日期間利用」ボタンを押して Solid AI 学習ツールを利用できます。
5. インストールコードが入力されるまで本ライセンス確認画面が表示されますが「30 日期間利用」ボタンで利用願います。

5　ソフトウェアのアンインストール

SolidAI 学習ツールソフトウェアをアンインストールする場合は Windos の「設定」画面から「アプリと機能」を選択してください。
「Solid_AI 学習ツール」が表示されていますのでダブルクリックしてアンインストールを実行してください。

お問い合わせ先

日本コンピューターテクノス株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-5-7　エミナンス九段ビル 3 階
e-mail：　solidai-info@jct-inc.co.jp